



東海大学大学院 2015年度 家族看護研究会

家族看護学研究室では家族看護を様々な理論やツールを用いて分析しています。

今回は、家庭の中に精神疾患を抱えた家族がいる状況で、看護師はどのように対応すればよいかを検討します。



テーマ

精神疾患を抱えた家族が家庭の中にいる場合、
看護師はどのように対応すればよいのだろうか？
精神科医の渡辺俊之先生と事例を分析する。

プロフィール：渡辺俊之
高崎健康福祉大学教授・東海大学医学部非常勤教授
日本家族研究・家族療学会第10代会長
家族療法、精神分析的な精神療法、リハビリテーション心理学
病人や障害者の心のケア、病人や障害者を抱えた家族（介護家族）
への心理的サポートと地域サポートについて研究されている。

2015年9月27日 日曜日
13:00～16:00

場所：大学伊勢原キャンパス 3号館1階会議室

アクセス：小田急小田原線「伊勢原駅」下車徒歩20分
バス10分（東海大学病院下車）

問合せ先：0463-93-1121（代表） 担当：井上

研究会ホームページ：<http://kazokuns.ihs.u-tokai.ac.jp>

メールアドレス：kazoku@tokai-u.jp

